

競技注意事項

2026国民スポーツ大会
選手選考春季選抜競技大会

1 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則ならびにこの大会の大会要項・競技注意事項によって行う。

2 アスリートビブスについて

- (1) ユニフォームの胸部・背部に確実につける。跳躍競技の競技者は、胸または背にのみつけるだけでもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付する。ランニングパンツの右横や後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、係（フィニッシュライン前方スタンド側）に返却する。

3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップ場として、北陸上競技場及びレクリエーション広場を使用することができる。
(使用時間は8時00分から最終種目招集開始時刻まで)
- (2) 瑞穂陸上競技場のトラックは、ウォーミングアップのために8時00分以後、大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り、9時30分まで使用できる。ハードルやスターティングブロックなどの競技場設置用具の使用やマークやチューブなどの用具の持ち込みはできない。リレーのバトン練習は北陸上競技場で行うこと。
- (3) 雨天練習走路は雨天時のみ使用可能。ハードル、スターティングブロックの使用やマークなどの用具の持ち込み器具の使用はできない。内側4レーンを流しとダッシュ用、外側の2レーンをjogと移動用とする。jogは左回りで行う。
- (4) 投てき種目の練習はできない。競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。

4 招集について

- (1) 招集所は第4コーナースタンド下に設ける。第4ゲート（1F）横の扉から入場すること。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、種目により違うので時間プログラムで確認すること。
- (4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、招集時間にかかわらず1種目めに競技者係主任（招集所）へ事前に申し出る。
- (5) リレーのオーダー用紙は、招集所に設置する。招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること。
- (6) 男女やり投を除く投てきの招集は北陸上競技場の競技場で行う。

5 競技実施場所（Field Of Play 以下FOPと記す）への入退場と控え場所について

- (1) 第4ゲート（1F）から招集所へ入り、招集後に係の指示によってスタンドの下を通りFOPへ移動する。競技終了後、入場と同じルートでFOPから招集所を通り、退場する。
- (2) 選手・審判・補助員以外はFOPに入らないこと。
- (3) 3Fのコンコースを控え場所として、通路を空けてシートやマットを使用できる。テントは禁止。毎日、持ち帰ること。盗難・破損などの責任は負わない。テープなどの粘着性のもので場所取りをした場合は、主催者で撤去する。糊などが残った場合は、清掃代を請求される場合がある。また、コンコースでは舗装が破損するため、スパイクの使用を禁止する。
- (4) 逆走の場合は、進行方向に向かって最も左側のレーンを1レーンとする。

6 レーン・試技順について

- (1) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2) 予選から次のラウンドへのレーンの決定方法はTR 20.4にもとづき、以下のように抽選を行う。
直線種目 上位 4・5・6レーン 中位 3・7レーン 下位 2・8レーン 最下位 9レーン
200m 上位 5・6・7・8レーン 中位 3・4・9レーン 下位 2レーン
400m 上位 5・6・7レーン 中位 4・8レーン 下位 3・9レーン 最下位 2レーン
* 300mと300mHは200mと同様にする。

7 トラック競技について

- (1) 直線種目については、コンディションにより逆走を実施する。
- (2) 400mまでのレーン使用の競技では、フィニッシュ後も他の競技者の安全のために、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走行して止まる。逆走の場合は、直線のまま走り減速すること。
- (3) 300mHはWA規格で実施する。1台目が400mHの4台目の位置になり、その後400mHと同じハードル位置となる（スタートから1台目まで50m。全部で7台）。

8 フィールド競技について

- (1) 三段跳の踏切板は男子13m、女子10mとする。
- (2) バーの上げ方

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
男子成年走高跳	1m80	2m00	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	2m06	以後3cm
女子走高跳	1m45	1m65	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以後3cm
男子少年走高跳	1m75	1m95	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	以後3cm
女子棒高跳	各自の高さを2回		2m50	2m70	2m90	3m10	3m30	3m40	以後10cm
男子少年棒高跳	各自の高さを2回		3m50	3m70	3m90	4m10	4m30	4m50	以後10cm

（練習はA・Bいずれか希望する高さで行う）

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

- (3) 跳躍・投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。マークは2個まで（サークルより行う投てき競技は1個まで）使用できる。
- (4) 男女やり投げを除くすべての投てき競技は、北陸上競技場で実施する。

9 抗議について

抗議がある場合には、結果発表（アナウンス）された時刻を基準とし、次のラウンドがある場合は15分以内、次のラウンドがない場合は30分以内に審判長に口頭で申し出る。（TR 8）

10 競技用器具について

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。

ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。やりについては、競技場にはないものもしくは1つしかないもの場合は持ち込みを認めるので、希望者は招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に、南側器具庫（フィニッシュライン付近）で検査を受ける。

11 競技用靴について

使用するシューズについては、競技規則TR 5.2を適用する。競技に使用するシューズが適用するかは、各自で、「ワールドアスレティックス承認シューズリスト」 <https://certcheck.worldathletics.org/> 上で使用が承認されているかを事前に確認すること。規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。2026年4月10日より、サークルから行われる投てき種目（砲丸投、円盤投、ハンマー投）を、競技用靴に関する規程の適用対象から除外された。

12 パロマ瑞穂陸上競技場の使用について

- (1) 開門時刻は、午前7時45分である。それ以前には立ち入らない。A・C・Eゲートより入場すること。競技開始前の練習を行う者は、第4ゲートより入退場すること。瑞穂公園駐車場の利用のため開場前に周辺道路に駐車することは通行の妨げになり、危険なため禁止する。
- (2) 応援幕等は張ることはできない。
- (3) 清掃・ゴミ処理は、各学校・各団体に責任をもって行い持ち帰ること。

13 その他

- (1) ナンバー・氏名・所属等の間違い、訂正があれば、団体受付後に本部に申し出る。
- (2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は各自で管理する。
- (3) 貴重品類は各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室（瑞穂競技場1F南側）において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は本人負担とする。
- (5) 個人情報の扱いについて

愛知陸協は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取り扱います。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。

- (6) カメラ・ビデオ等の撮影は、出場の団体・学校関係者のみとする。

観客席からの撮影制限について

- ① **観客席での撮影禁止**をさせていただくエリアは下記の席です。
 - ・各種目のスタート後方
 - ・走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方・着地前方
 - ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- ② 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- ③ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりする間や体を動かしているなど準備の行動の撮影は禁止します。
- ④ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡をとらせていただきます。